

報 告 書

報告日	平成	28	年	12	月	14	日	分 類					
所 属	企画部広報課							報告者	高野 優花	印			
日 付	開始	28	年	12	月	12	日	時 間	開始	10	時	00	分
	終了	28	年	12	月	12	日		終了	13	時	00	分
場 所	本店3階大会議室												
件 名	第3回「みらいろ女子会」交流サイト												

件名について、下記の通りご報告させていただきます。

1. 出席者

<女性農業者>

景井愛美さん(仁井田、果樹農家)、八木沼恵子さん(庭坂、果樹農家)、
紺野奈々子さん(平野、果樹農家)

<業者>

(株)リンクサプライ 高橋路雄 取締役企画営業本部長

<JA>

佐藤広司企画部次長、井浦弘晃広報課係長、高野優花、渡辺洋介

2. 内容

(1)開会、あいさつ 佐藤次長

(2)協議

【交流サイトの周知について、みらいろ女子会の活動について】

サイト立ち上げ初期は女性農業者のコアメンバーを中心とした活動を行い、それをサイトに掲載することで一般消費者や企業へ周知させていくという、12月5日の内部会議で確認したJAとしての方向性を説明しました。また、女子会の会員メリットとして「クーポンがもらえる」「優待がある」ということよりも、「一人では出来なかったことが実現できる」ということを再度説明し理解を頂きました。

その上で、コアメンバーとしてサイト製作と並行してどのような活動を行いたいのか、どのようなプロジェクトを立ち上げたいかという意見を上げて頂きました。以下、要望をまとめました。

<意見・要望>

- ・学校、大学との連携…学校教育支援事業との連携
- ・料理教室、栄養講座…JAで現在行っている「地産地消料理教室」「AOZ料理教室」との連携

⇒女性農業者が個人的に持っている資格(スムージーアドバイザー、野菜ソムリエ等)を活かせる場が欲しい

い

- ・月1回の定期的な「みらいろ女子会」主催のイベント
- ・みらいろマーケット、JAまつりの様な既存のイベントへの出店
- ・JAの6次化商品について学ぶ「工場見学ツアー」の実施(銀嶺食品、岡昇、金水晶等)
- ・家族、夫婦、親子で参加しやすい農業経営を学べるセミナー
- ・加工を業者に委託した6次化商品開発⇒みらいろ女子会ブランドとしての販売

⇒1農家で加工を業者に委託するのは難しいので、みらいろ女子会として出荷組合を作り加工品用の材料を確保

- ・対企業、対消費者の座談会の開催

意見の吸い上げのあと、女子会設立やサイトオープンを広めるイベントについて話し合いました。以下が、出された意見です。

① みらいろ女子会マルシェ

開催時期：1月中

開催場所：農産物直売所こころ矢野目店イベント広場

開催内容：女性農業者による出店(生鮮品、加工品)、食農育パネルの展示、サイト紹介コーナー、みらいろ女子会会員考案の軽食販売(カレー、パンケーキ、フレッシュジュース等)

メリット：同じ品目の農産物でも農家ごとの食べ比べができる、女性農業者が自分をアピールできる
農業女子会らしさを出せる

デメリット：開催時期が品物の端境期、出店できる会員とそうでない会員がいるためメリットが偏る
お金の管理が難しい、こころ出荷者からの批判が心配される、大雪が降るとイベント自体が無くなる可能性がある、会員の負担

② ワークショップ

開催時期：1月中

開催場所：JA施設の大会議室

開催内容：女性農業者によるブースやサイト紹介ブースを設置。JA役職員、地元企業、メディア関係者、学校関係者を招待し、ブースで様々な体験(担当者による説明を聞く、試食、簡易調理等)をしてもらう。

メリット：女子会設立やサイトのオープンを多方面にアピールできる、女性農業者が自分をアピールできる

デメリット：会員の負担、ブースにつきっきりになるため女性農業者同士の交流がしづらい

③ レセプションパーティー

開催時期：1月中 or サイトオープンの前日

開催場所：福島市内のホテルや飲食店等

開催内容：女性農業者・JA役職員・招待企業・メディア関係者など関係者のみを招待。パーティーの前段は、みらいろ女子会の設立と交流サイトオープンの記者会見を行う。その後、会食(女子会会員が提供した食材を使った料理)。会場内には、関係企業のブースや女子会会員のブース(パンフレットの設置などの簡易なもの)が並ぶ。パーティーの中盤ではスクリーンでサイト紹介スライドを流す。

メリット：女性農業者が気軽に参加できる、女子会会員になっていない女性農業者へもアピールできる、参加者同士の交流が出来る、農産物がPR出来る

デメリット：費用、運営側の労力

上記イベントについてはJA内部で検討した後、次の打合せの時に出席者に報告いたします。最初なので、事務局側で指揮をとりながらサイト製作メンバーと「オープニングイベントプロジェクト」を作り、イベント準備に取り掛かりたいと思います。

その他、サイトの書き込みの充実を図るため、みらいろ女子会として活動するときは会員が活動報告をサイトに書き込むきまりを作ることを提案しました。オープニングイベントプロジェクトについても、事後報告となりますがサイトにアップします。(→サイトをオープンして記事が何もないという状態を回避する)

【その他】㈱リンクサプライより女子会の活動の提案

㈱リンクサプライで発行する「福島美少女図鑑」と「みらいろ女子会」を掛け合わせた、農業女子を取り上げたフリーペーパーの作成について提案がありました。高橋部長からは、女子会の中で「みらいろ女子会×福島美少女図鑑プロジェクト」を立ち上げてもらい一緒に作りたいとのこと。広告協賛やスポンサー無しで製作すると2万部発行で約300万円の費用が掛かります。

※「福島美少女図鑑」については添付した資料、冊子をご覧ください。

【所感】

会議やそれ以外の様々な場所で女性農業者と話す機会が増え、少しずつですが「みらいろ女子会」への期待の高まりを感じています。国や県の農業女子プロジェクトは波及力が大きいところや助成がしっかりしているところが利点な反面、行政主体のセミナーや活動が主であることや、行政からの規制や要望があり自分たちの活動を行いつらいことなどがあるそうです。そのため、自分たちの意見が反映させやすいことやある程度融通が利く「みらいろ女子会」で活動をしてみたいという意見もあり、事務局としても精一杯サポートできればと思っています。内部打合せの内容を反映させ、今回の会議で女性農業者の皆さんから活動の要望を吸い上げたところ、JAの既存の事業と連携させて出来る部分も多く、各地区本部に話をしてみたいと思いました。また、オープニングイベントについても、大卒の話し合いをしました。期間があまりないのでこちらも急ピッチで準備していかなければと思います。

また、今回の話し合いには女性農業者の景井さんを通じて、「みらいろ女子会」との連携を希望する企業にも同席して頂きました。話を聞き、「みらいろ女子会×福島美少女図鑑」の取り組みはとても魅力があり、また、若い世代に対するJAのイメージアップというJAにとってのメリットもあると感じました。費用のことやJAとしての考えもあると思うので、内部で再度協議させて頂けたらと思います。

サイト製作と並行して、女子会の会員の募集やオープニングイベントの準備、次年度の女子会の活動に向けたプロジェクトの立ち上げなどやることは山積みですが、周囲と協力しながら進めたいと思います。